事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年07月01日（木）

事務事業	大河ドラマ館整備運営事業	担当課	渋沢栄一政策推進課	担当係	渋沢栄一政策推進係	管理番号	6204
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政分野別	大項目 200002 次代を担う人と文化を育むまちづくり（教育・文化）	根拠法令個別計画等					
施策名	中項目 200002 誰もが生きがいを持ち、学ぶことのできるまちづくり						
	小項目 200002 郷土の歴史・文化の継承と活用						

事業概要	大河ドラマ「青天を衝け」深谷市推進協議会の運営と、大河ドラマ館の設置・運営、ＮＨＫ関係団体との連絡調整を行う事業。
目的 ※何のために	大河ドラマの放映に合わせて生誕地である深谷市を広く情報発信するため。
対象 ※誰・何を対象に	首都圏を中心とした全国から深谷市を訪れるかたを対象とする。
手段 ※どのように	協議会を運営し、大河ドラマ館を設置・運営する。
成果 ※何を求めるか	深谷市を訪れる人数を増加させ、まちなかへの回遊を促し、地域の活性化につなげる。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0

本事業の主な業務

・ 協議会の設立・運営	・
・ 大河ドラマ館の設置・運営	・
・ 大河ドラマ関係団体との連絡調整	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画								
事業費	予算（現額）		0	0	0	0	0	0
	決算額		0	0	0	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数（人）		0.00	0.00	0.00	2.80	1.70	1.70
	人件費相当試算 ※1		0	0	0	22,780,800	13,831,200	13,831,200
			0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）			0	0	0	22,780,800	13,831,200	13,831,200

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	協議会全体会議開催回数	目標値	回	0.00	0.00	0.00	4.00	4.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	5.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		３ヶ月に１回の開催を目標とする。							
		開催回数									
■	成果指標１	大河ドラマ館の来場者数	目標値	千人	0.00	0.00	0.00	50.00	450.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	18.22	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		開館期間中に５０万人の来場者を目標とする。							
		年間来場者数									
■	成果指標２	大河ドラマ館の満足度	目標値	%	0.00	0.00	0.00	80.00	85.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	77.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		当初８０%とし、５%の向上を目指す。							
		アンケートの割合									
□	効率指標１	来場者１人当たりのコスト	目標値		0.00	0.00	0.00	7,180.00	719.55	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	15,788.50	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		予算額÷目標来場者数で算出する。							
		決算額÷来館者数									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 大きな問題なく目標値以上の開催ができたため、Ａとする。
成果 （意図した成果が上がっているか）	C	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 新型コロナウイルス感染症の影響を受け来場者が減少し目標を達成できなかったため、Ｃとする。
効率性 （効率的に事務を行っているか）	C	目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 新型コロナウイルス感染症の影響を受け来場者が減少し目標を達成できなかったため、Ｃとする。

評価者	渋沢栄一政策推進係長　高田　弘徳

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

6．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	大河ドラマ館整備運営事業	担当課	渋沢栄一政策推進課	担当係	渋沢栄一政策推進係	管理番号	6204

- □ ① 現状のまま継続
- □ ② 見直して継続 →
  - □ 委託化等の検討
  - □ 成果向上のための改善
  - □ 効率化のための改善
  - □ 事業規模の縮小
  - □ 他の事務事業と統合
- □ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
- □ ④ 目的達成による終了
- ■ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

大河ドラマ館の来館者数がコロナ禍の影響もあり、思うように伸びなかった。
引き続き、新型コロナウイルス感染の状況を見ながら、イベントの開催などにより可能な範囲で集客を図り、来場者の満足度を高めるため取り組んでいく。また、大河ドラマ終了後は施設のレガシーについて検討する。

評価者	渋沢栄一政策推進課長　坂倉　茂

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

7．改善改革プランと今後の課題

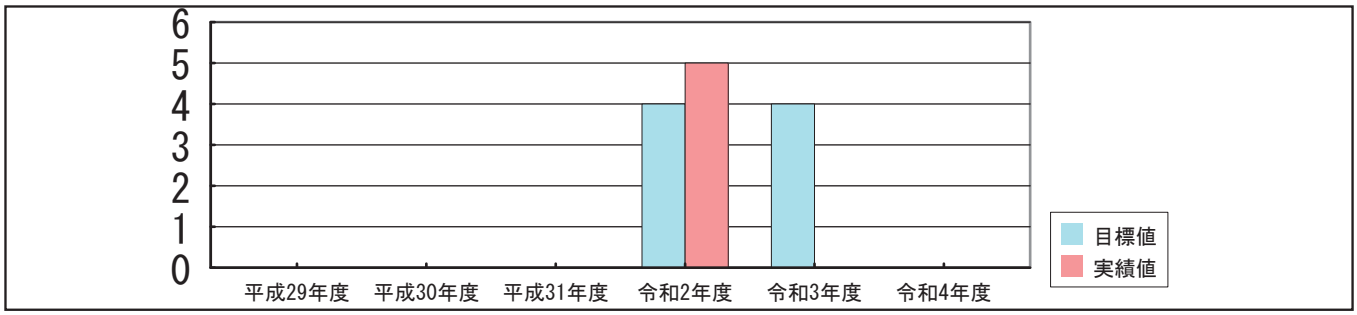
改善・改革案	大河ドラマの終了後は大河ドラマ館を閉館し施設を現状復旧させるとともに、施設のレガシーについて活用方法などを検討する。また、協議会の解散に向けて適切に対応する。

8．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

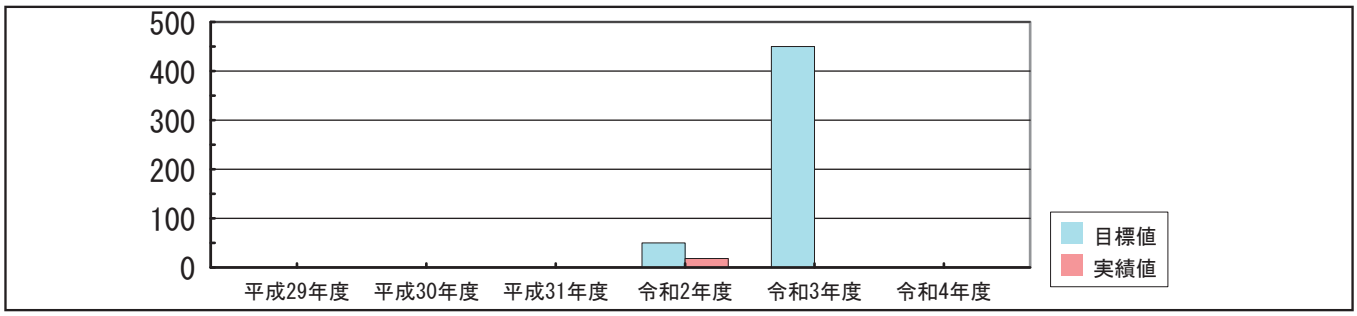
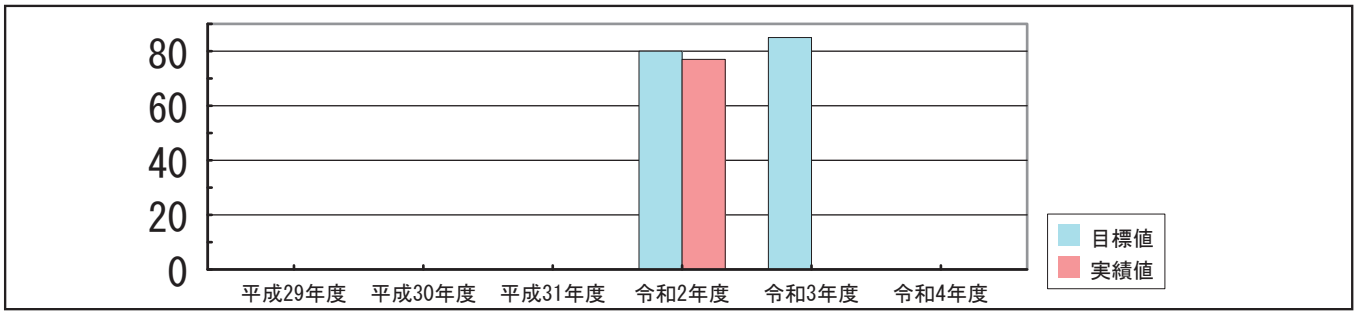
今後の課題	協議会解散後の渋沢栄一翁を活かしたプロモーション実施団体を構築すること。

9．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	協議会全体会議開催回数



区分	成果指標１	指標名	大河ドラマ館の来場者数



区分	成果指標２	指標名	大河ドラマ館の満足度